



産業新聞

Japan Metal Bulletin

日刊

産業新聞社
〒114-8501 東京都荒川区西日暮 1-16-14
TEL 03(5566)8185 FAX 03(5566)8185
〒114-8501 東京都荒川区西日暮 1-16-14
TEL 03(5566)8185 FAX 03(5566)8185
〒114-8501 東京都荒川区西日暮 1-16-14
TEL 03(5566)8185 FAX 03(5566)8185
〒114-8501 東京都荒川区西日暮 1-16-14
TEL 03(5566)8185 FAX 03(5566)8185

きょうの紙

12面 非鉄ニュー

海峽封鎖、非鉄相場

2面 鉄鋼ニュー

明治鋼業「J-クレジット」

明治鋼業は、栃木工業の
陽光発電設備での発電
で削減したCO2排出
の認証制度である「J-
クレジット」で認証された

3面 鉄鋼ニュー

日鉄鋼板、新ブラン

5面 中日本ネットワ

柳田製作所、微細加

マーケット情

外為TTS	3日10時	三
ドル	160.70	
ユーロ	185.73	
人民元	23.48	
LME相場	現地2日セ	
銅	12147.0	
アルミ	3505.0	
ニッケル	16900.0	
亜鉛	3235.0	
東証終値		
53,123.49	660.22	
日本製鉄	585.0	
JFEHD	1,851.0	
神戸製鋼	1,943.5	

7面に主要企業株価

鉄スクラップ総合価格	3
H2	50,200
新断バラ	52,700
鉄スクラップ湾岸価格	関
H2	49,500-50,500
バルチック海運指数	2066
WTI原油先物	中心限月、現
	111.54
中国先物市場	中心限月、現
異形棒鋼	3104
熱延鋼板	3293
原料炭	1126
鉄鉱石	803.5

特殊鋼鋼材4契値上げ

大同特殊鋼、1万円以上

大同特殊鋼は4月契約分(6月納入分)から、特殊鋼鋼材(構造用鋼、ばね鋼、軸受鋼)のベース価格をトン当たり1万円以上引き上げる。対象は全ての国内向け(ひも付き、店売)の輸出についても改定する。値上げは2024年2月契約の同一万円以上の改定以来。

鉄スクラップなどの主原料価格の高騰や、製造工程が長く、コスト負担が一段と大きくなる二次加工品などについて同1万円以上の値上げとなる。26年度は前年並みの継続的な安定供給と、再生産可能な価格水準への是正が必要と判断し、値上げに踏み切る。建設機械や産業機械など、製造工程が長く、コスト負担が一段と大きくなる二次加工品などについて同1万円以上の値上げとなる。26年度は前年並みの継続的な安定供給と、再生産可能な価格水準への是正が必要と判断し、値上げに踏み切る。

ステンレス棒鋼10%以上

Ni系は鋼種エキストラも

大同特殊鋼は4月契約分(6月納入分)から、鋼、形鋼、平鋼を10%以上値上げする。Ni系は鋼種エキストラもアップする。ニッケル系ステンレス鋼はニッケルとモリブデンなどの含有量に見合った鋼種エキストラを

日本鉄鋼業の針路



鉄鋼業魅力高め人材確保

順次対象拡大、30年以降の本格活用を取り組む方針が示された。国交省や同省以外の省庁、地方自治体を含め、公

岐本金属、港湾ドック取得

旧三井造船から海洋土木で連携

金属スクラップ加工(旧三井造船)所有の千葉市東区、宮口幸治社長)は3月31日、三井E&Sを含む土地を購入する

配管資材総合商社
With customers for the next 100years
KOJIMA
株式会社 古島
東京都中央区日本橋茅場町2-17-7
TEL:03(3668)4833 FAX:03(3664)5088

取得したドック、各業種とタッグを組んで(宮口社長)活用する構想を持つ。



パイプ在庫
ホワイト
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-353-9100
http://www.az-azabu.com

茨城・土浦工場 竣工式開く



あいさつする小倉社長

ため、これまでお世話になった県内の各業界の発展に貢献したい思いが強かった」と明かした。

2026.4.6
美浜シンクヤード(千葉市美浜区)を開設。17年に同港を完全自社化した。水深12m、最大5万トンの船を接岸できる港からバトン

民需創出を推進

と脱炭素から遠ざかる。タンスだが、将来的には脱炭素化が産業界の競争要件になる可能性があり、単に地球環境保護だけでなく、産業競争力を維持するために脱炭素の技術を持たないと競争で劣後してしまう。

おかげさまで 創刊90周年
日刊産業新聞
90th
SINCE 1936
https://www.japanmet

金属
療70ヘルと変わる。「医食同源」とは、ものの、食を薬し、場が医に通う場へと姿を変えるのだから、何とも象徴的ではある